

2. 海藻のしおり製作【所要時間 50分～85分 60名】

(1) ねらい 入所記念として「テングサ」を主とした紅藻類を使ってしおりを製作させ、海藻に関心を持たせるとともに、製作のよろこびを味わわせる。また、海の思い出として愛用させる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：エンピツなどの筆記用具，ハンカチ（タオル）
- 引率者：班編制（6名～8名），座席の決定
- 所員：材料のテングサ，台紙1人1枚，バット，ピンセット，はさみ，柄付き針，作品例，リボンひも，ラミネーター，シート，色エンピツ，カッター，定規，カッターマット，つめ切り

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- テングサを真水で洗うと白く変色することを知らせ、水道を使用させない。
- テングサの茎，枝が太くごつごつしたものは，附着しにくいことを知らせる。
- バットが各班1つであるため，協力してテングサを選択させる。
- 特に柄付き針の使用の際の安全に留意させる。

(4) 活動展開例

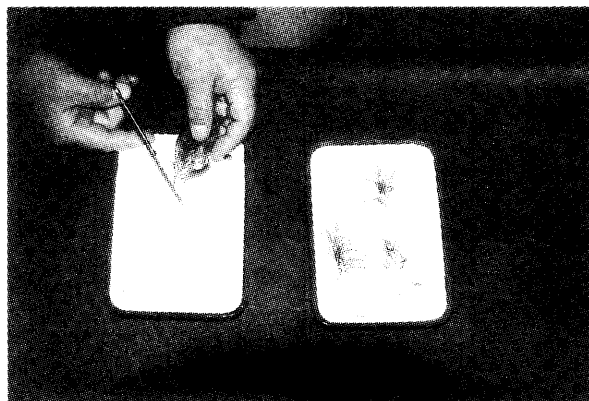
活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	5		●海の学習室
2. 材料，用具の確認をし，台紙とリボンひもをうけとる。	5	●裏面に学校名，学年，氏名を書く。	
3. しおりの作り方について説明を聞く。	10	●テングサの性質やしおりの作り方の要点を説明する。 ●材料の選択，整形，枝のばしがポイントであることを知る。	●バット，ピンセット，はさみ，柄付き針
4. 製作する。	20 55	●机間巡視により，個別指導をし，海水のつけすぎ，少なすぎに注意する。 ●枝の細いものがきれいに仕上がることを説明する。	●台紙，リボンひも，バット，色エンピツ，カッター，定規，カッターマット，つめ切り
5. 仕上げをする。		●新聞紙で作品の水分をとった後，ラミネーターでカバーをし，リボンひもをつける。	●ラミネート用フィルム
6. あとかたづけをする。	5	●道具は，丁寧に水洗いをして所定の場所に返却し，机上を整理する。	●用具格納ワゴン，ふきん
7. まとめのお話を聞く。	5		

資 料

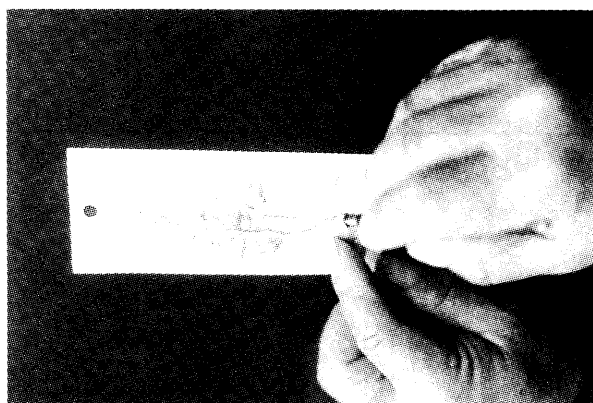
製作手順



1. 海藻を海水につけ、自然の状態にもどす。



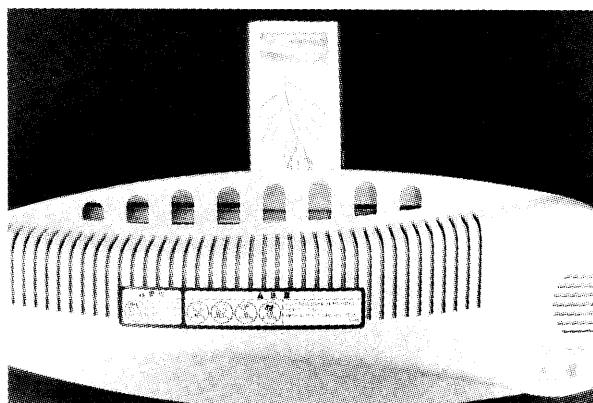
2. バットの中でテングサの茎の根元近くを切り、枝ぶりの良いものを選ぶ。(バットが小さいので代表者が切りとるように指導する方が能率的である。)



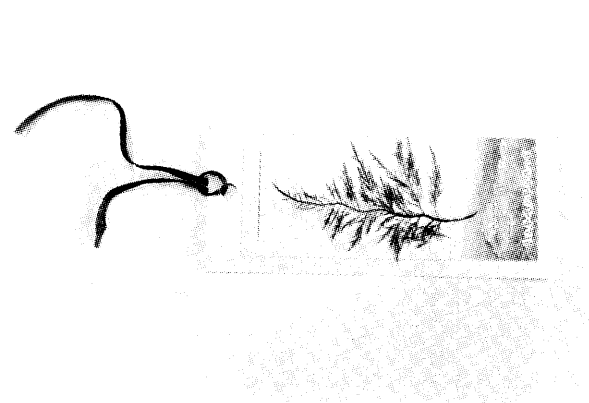
3. しおりの上でテングサを広げ、適当な大きさにする。(枝の元の方を切る。) 1枚のしおりに2つテングサを貼るのもよい。(バランスを考えて)



4. 選んだテングサをしおり上に移し、枝先の細かい部分まで気を配り、ていねいに広げ整形する。そして、新聞紙上に上から重しをのせ、水分を吸いとる。



5. ラミネーターでカバーをする。



6. しおりにリボンひもをつけてできあがり。